

放課後等デイサービスにおける自己評価結果

公表日 令和 8年 3月

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		子どもが主体的に活動できるよう構造化しています。スタッフを分散して各部屋に配置するようにしています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		療育の質や安全面も考慮し、定められた基準よりも多い職員を配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		子どもにわかりやすいよう構造化しています。また、室内に段差はなくバリアフリーになっています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		清潔を保つよう心がけており、定期的に消毒もしています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		集中して個別学習に取り組めるような環境にしています。また、必要に応じて気分を落ち着ける場所を利用できるようにしています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		目標設定と振り返りを全員で行っています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎年全員で保護者アンケートの結果について話し合い、業務改善に努めています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎日ミーティングを行い意見交換できる機会を設けています。
	9	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		各自可能な限り研修に参加しています。
適	10	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		年度の初めに皆様に配布しています。また、インターネットでの公表が義務付けられていますので、適切に公表しています。
	11	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		保護者さんにアセスメントを行い、ニーズや課題を分析して支援計画を作成しています。
	12	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援管理責任者と担当職員が共通理解のもと作成した支援計画を、全員で検討します。
	13	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		支援計画の到達目標は毎日のミーティングの際に全員で共有し、その日の目標設定をしています。
	14	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		事業所での様子に加え、定期的に保護者からお話を伺い、自宅や学校での様子を含めた状況把握に努めています。
	15	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		個別支援計画において、具体的な到達目標の項目として「本人支援」「家族支援」「移行支援」を設定しています。

切 な 支 援 の 提 供	16	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	集団活動の内容については、全体案を出し合い、みんなが楽しく参加できるように個々の子どもに合わせた参加方法を、全員で話し合いながら決めています。
	17	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	学校終了後や長期休業中など、その日の活動時間に合わせたプログラムを計画しており、また個々に合わせて活動やその順番を工夫しています。
	18	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	それぞれの状況に応じ、個別活動と集団活動を取り入れており、友だちと遊ぶ中で、他者との関わりを学べるようにしています。
	19	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	毎日の支援開始前に、全体の活動の流れと個々の支援目標を打ち合わせして確認しています。
	20	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	支援終了後に記録を取り、次回利用時の支援前ミーティングにて振り返りをして職員間で共有し、その日の支援につなげています。
	21	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	その日のねらい、支援内容、結果、改善策などを記録しています。支援の改善に繋がるよう努力していきます。
	22	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	定期的に保護者との個別面談を行い判断しています。
	23	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○	基本活動を複数組み合わせ、子供の意見を聴きながら自己選択や自己決定を促すとともに、子ども同士の関りの中で子どもが主体性を発揮しながら参加できるよう支援しています。
24	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	必要に応じて、複数の活動から自己選択できるようなスケジュールにしています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	児童発達支援管理責任者が参画しています。
	26	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	関係機関と連携して支援を行っています。
	27	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	学校から下校時刻・行事予定の連絡を受け、児童の利用日、送迎についての情報を共有しています。
	28	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	就学時に行っています。
	29	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	専門機関と連携し支援に繋げています。また、発達障がい者支援センターなどの研修を受講しています。
	30	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	他の子どもと交流する機会を設けてはませんが、個々に合わせた内容で対人関係の学びの時間を多く取っています。学校や学童で、その学びを活かして楽しく過ごせるようにしていきたいと思っています。
	31	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	人吉球磨地域障がい者総合支援協議会に参加しています。
	32	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	連絡帳を活用したり、お迎えに来られた際、またご自宅に送った際にご家庭での様子を聞かせて頂いており、職員間でも共有しています。
	33	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	LINEで、保護者さんが参加できる研修等の情報をお知らせしました。今後も研修会があるときには、情報提供を行ってまいります。
	34	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約時に丁寧に説明しています。また、いつでも閲覧して頂けます。

保 護 者 へ の 説 明 等	35	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		現在の子どもの様子と保護者さんのニーズについて聴き取りをして支援計画を作成しています。
	36	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		支援計画に沿って内容の説明をし、サインをいただいています。
	37	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		連絡帳を活用したり、お迎えに来られた際、またご自宅に送った際にご家庭での様子を聞かせて頂き、次回以降の療育に取り入れ支援しています。
	38	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		保護者交流会を開催した際、保護者さん同士で様々な情報交換をされていました。今後も開催していきたいと思います。
	39	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		玄関外に苦情箱を設置しております。今年度も今のところ苦情は頂いておりませんが、お気づきの点を投函していただきましたら適切に対応したいと思います。
	40	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		おひさま便りを不定期で発行しています。また、連絡帳に写真を貼り、活動の様子が分かるようにしています。SNSでの発信はしていません。
	41	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		今後も引き続き十分に留意していきます。
	42	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		
	43	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>		大勢の方が集まる賑やかな場所や、いつもと違う環境が苦手な子どもさんもあり、混乱を招く恐れもある為、行事に地域住民を招待することは今のところ計画しておりません。
非 常 時 等 の 対 応	44	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		マニュアルは玄関脇に配備していますので、いつでも閲覧いただけます。重要事項説明書交付の際にも内容をご確認いただいています。
	45	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		定期的に避難訓練を実施しています。子どもたちも地震の避難訓練を個別に行いました。また、避難バッグを設置し非常時に備えています。
	46	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		既往歴や服薬状況を契約時に確認しています。
	47	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>		アレルギーの確認書をご記入いただいております。年度ごとに更新しています。
	48	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		計画に沿って研修・訓練を行っています。また、施設内の設備や備品、建物周辺の安全点検も定期的に行っています。
	49	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		保護者さんに安全計画を配布して、内容をお知らせしています。
	50	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		ヒヤリハットの起こった状況、その時の対応、再発防止に向けての方策について話し合い、記録をとっています。
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		県の虐待防止研修を受講しています。また、事業所内に虐待防止委員会を設置し、職員全体での研修を実施しています。
52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		身体拘束適正化のための指針を作成しています。今後該当することがある場合には適切に対応していきます。	